

(番外) 未来教室 杉並区立科学館「区民科学教室」

開催日時 平成26年3月15日(土)
13:00~17:00

場 所 杉並区立科学館
(杉並区清水3-3-13 03-3396-4391)
館長 今村博文氏
物理主任指導員 茨木孝雄氏

対 象 小学校5年生以上(定員18名)

内 容 マイコン電子工作教室 —「オルガン&メロディサウンド」をつくろう—
(製作材料費1,300円は参加者負担)

講 師 (株)ルネサスソリューションズ
テクニカルエキスパート 磯 佳実氏
技師 平井雅子氏

当日の様子



《参観記》

おやじ日本 副理事長(未来教室担当) 納富善朗

「理科離れ」が危惧され「ものづくりの危機」が指摘されるなか、(株)ルネサスソリューションズからの求めに応じて作成を援助した小・中学生用の指導案(プログラム)を杉並区立科学館に紹介したことが、「マイコン電子工作教室」と「マイコンレーザー体験教室」(22日開催)につながりました。「未来教室」の取組みの延長線での、学校以外の教育機関と企業との連携(科学館と企業との共同企画事業)です。

今日の「教室」には、小学生の親子9組と成人5名が参加しました。授業の前半では、マイコンの解説と、「オルガン&サウンド」基盤の組立て作業が行われました。小さなキットをボードにはめ込みハンダで付ける1時間余の試行錯誤。子どもの多くがハンダ付けは初体験でしたが、お父さんやお母さんとの共同作業で徐々に基盤の形になりました。スイッチオン。「おおブネレリ」のメロディが流れた時の「やった!」の笑顔が印象的でした。

後半の授業では、パソコンとライター(書込み)基盤を使って曲目やテンポを変える学習をしました。初めに、画面に表示されているプログラムの用語と意味、入力方法の説明がありました。子どもたちのパソコン操作はスムーズで、聴きたい曲を選んでプログラムを変え、マイコンに書き込み、鳴らしました。講師の指導で、ファイルに無い自分だけの曲を書き込む子どももいました。

長時間の授業でしたが、小学生全員が集中して取り組みました。科学技術最先端の高い知見が学ぶ楽しさを一層引き出したのだと思いますが、参観して、このような支援が子どもたちの「科学リテラシー」、ひいては「生きる力」を育む有効な方法になりうることを、そして、より多くの子どもたちに広げる条件を整えていく必要性を感じました。